ハンドマイク街頭演説原稿例　規制法改定　抜け穴許さない

二〇二四年六月十四日　日本共産党埼玉県委員会・作成

※国会審議の進行に合わせて傍線部を適切に修正してご活用ください※

　ご近所のみなさん、日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　いま国会では、自民党派閥による裏金事件を受けて、政治とカネの問題が大きな問題となっています。自民党提出の政治資金規正法改定案を、公明党と日本維新の会との合意で修正したものが衆議院で可決され、現在は参議院で審議が続いています。国民の求める、真の政治改革を実現するため、日本共産党は全力で取り組んでいます。日本共産党へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

　みなさん、企業や業界団体から政治家への献金は、その企業や業界に有利な政治を期待して行われるものであり、どうしてもワイロの色が強くなります。そして自民党の裏金づくりの原資となったのは、企業・団体による政治資金集めパーティー券の購入でした。形を変えた企業・団体献金だったと言わなければなりません。だからこそ、企業・団体献金の全面禁止こそが、真の政治改革の核心となります。日本共産党は、「企業・団体献金全面禁止法案」と「政党助成法廃止法案」を参議院に提出しています。この法案は企業・団体による政党や政治家への寄付・献金を禁止します。パーティー券売り上げの収入も寄付とみなし、企業・団体によるパーティー券購入を全面的に禁止します。

　一方、裏金問題の真相解明に背を向けて提出された自民党案からは、企業・団体献金の禁止がすっぽりと抜け落ちています。パーティー券購入者の公開基準額を現在の「二十万円超」から「五万円超」に引き下げるとしますが、パーティーを何度も開催したり、複数人で分担して購入したりすれば、購入者の名前が公開されずにすむというものです。事実上、今までと何も変わりません。

　自民党案では、政党本部から党幹部らに渡されてきた「政策活動費」を法定化し、領収証や明細書などを十年後に公開するとしています。政治資金規正法違反の時効は五年間なので、十年後に詳細が公開されて不正が明らかになっても、罪に問われないですむということになります。もともと政策活動費は、支出の実態を隠すための脱法的なものです。これをどさくさにまぎれて合法化しようとするものであり、断じて許せません。

　自民党などは、こんな抜け穴だらけの政治資金規正法改定案を参議院でも可決して成立させようと狙っています。日本共産党は、日本共産党案も含めて参議院で徹底的に審議し、抜本的な法改正を実現するために全力で取り組みます。日本共産党へのご支援、ご協力を重ねてお願いいたします。

　自民党の裏金問題を最初に取り上げた、日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」をこの機会にぜひお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）